

平成25年度行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	南極地域観測事業に必要な経費		担当部局	研究開発局	作成責任者	海洋地球課長 井上諭一		
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度～なし		担当課室	海洋地球課				
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-7 海洋分野の研究開発の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・南極地域観測への参加及び南極地域観測統合推進本部の設置について(昭和30年11月4日閣議決定) ・南極地域観測第VII期計画(18～21年度) ・南極地域観測第VIII期6か年計画(22～27年度) 				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、地球温暖化をはじめ地球規模での環境問題が拡大する中、極域特有の大気、海洋、雪氷等に関する研究・観測を実施することにより、地球規模での気候・環境変動のメカニズムの解明に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	南極地域観測統合推進本部(本部長:文部科学大臣)において策定された南極地域観測計画に基づき、地球温暖化など地球環境変動の解明に向け各分野における地球の諸現象に関する研究・観測を推進するため、南極地域において継続的に種々の観測を実施する。南極観測船「しらせ」による南極地域(昭和基地)への観測隊員・物資等の輸送を実施するとともに、そのために必要な「しらせ」及び南極輸送支援ヘリコプターの保守・整備等を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	3,510	3,440	3,712	3,892	4,682	
		補正予算	0	0	3,440	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計		3,510	3,440	7,152	3,892	4,682	
	執行額		3,207	3,255	6,865			
執行率(%)		91.4%	94.6%	96.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	第VII期 (18～21年度)	第VIII期前半3か年 (22～24年度)	目標値	
	南極地域観測第VII期計画(平成18～21年度) 南極地域観測統合推進本部外部評価委員会による評価結果(第VII期に実施された33の研究観測等の実績・成果を当初計画に照らしてSABC評価したもの)に占めるSA評価の割合。		成果実績	%	85	100	80%以上	
南極地域観測第VIII期6か年計画(平成22～27年度) 「第VIII期計画に係る中間評価の在り方について」(南極地域観測統合推進本部観測・設営計画委員会)に基づき実施された自己点検評価結果(第VIII期前半(22～24年度)に実施された各種研究観測の実績・成果を当初計画に照らしてSABC評価したもの)に占めるSA評価の割合。		達成度	%	106	125			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	南極地域観測隊及び「しらせ」行動計画総行動日数		活動実績 (当初見込み)	日数	146 (151)	151 (151)	151 (151)	— 6月開催の南極地域観測統合推進本部総会において決定
単位当たりコスト	3,420(百万円/南極地域観測行動)		算出根拠	24年度執行額(うち28年度導入予定の航空機購入費を除く)/南極地域観測行動1回				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員諸手当	107百万円	105百万円	南極地域観測船「しらせ」の運用に係る経費の増				
	諸謝金	17百万円	17百万円					
	職員旅費	4百万円	4百万円					
	委員等旅費	2百万円	3百万円					
	南極地域観測隊員派遣旅費	39百万円	39百万円					
	南極地域観測事業業務庁費	155百万円	175百万円					
	航空機及び船舶運航費	3,397百万円	4,176百万円					
	糧食費	83百万円	82百万円					
	南極地域観測委託費	86百万円	82百万円					
南極条約事務局拠出金	2百万円	2百万円						
計	3,892百万円	4,682百万円						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	○地球温暖化問題をはじめとする地球環境変動の実態把握と将来予測に対して国民から強い関心が寄せられている。極地における環境変動はグローバルな気候変動に大きな影響を及ぼしていることから、科学的観測データを継続的に取得することが重要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	○本事業は、昭和30年11月の閣議決定に基づき開始され、南極地域観測統合推進本部(本部長:文部科学大臣)を中心に、関係省庁が連携・協力して実施する国家プロジェクトである。気象条件の厳しい南極地域に隊員や物資などを安全・確実に輸送し、継続的に観測活動を実施するためには、専用船舶・航空機の運用等の特殊な技術が必要であり、地方自治体や民間等に委ねることは困難である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	○南極地域観測第Ⅶ期6か年計画(22~27年度)では、派遣する人員数や活動地域・期間などの効率化を図ることとされており、毎年度、この基本方針に基づき南極観測統合推進本部が事業計画を検討・策定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	○毎年度、次年度予算の概算要求にあたり、各関係省庁からのヒアリングを実施し、南極地域観測や南極輸送支援などに必要な経費の使途が、本事業の目的に即して真に適切なものかを検証している。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	○毎期観測計画終了時、南極地域観測統合推進本部の外部評価委員会により、研究観測、基本観測、設置、本部業務等、及びこれらを含めた事業計画全体に係る事後評価が実施されている。また、期前半終了時、同本部の観測・設営計画委員会により、研究観測に係る中間評価、及び基本観測に係る進捗状況確認が実施されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	○第Ⅶ期の事後評価では、33の事業計画に対して、8割以上が「計画通り、または計画を上回った実績を上げている」とされ、事業計画全体についても、「学術研究の発展と、国際社会における我が国のプレゼンスの向上に貢献する実績を上げている」とされている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	南極地域観測第Ⅶ期計画(18~21年度)の外部評価結果、及び現在実施している第Ⅷ期6か年計画前半3か年(22~24年度)の中間評価結果を踏まえ、毎次南極地域観測及び南極輸送支援に係る計画検討・策定に引き続き反映することとする。また、25年度予算の編成にあたっては、各関係省庁との連携のもと、観測機器の更新内容の精査等による効率化を図り、観測に係る経費を縮減したところである。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、関係省庁への予算の移し替えを行いつつ、南極地域における研究・観測を行う事業であり、予算執行の状況及び長期継続の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:50年以上続く長期継続事業であり、地球規模での気候・環境変動のメカニズムの解明に資するために、閣議決定に基づいた他省庁との役割分担を踏まえた必要性が認められる。また、平成24年度レビューの指摘を踏まえ、25年度予算において観測機器の更新内容の精査等による効率化により研究・観測にかかる経費の縮減を図るなど一定の見直しを図ったことは評価するものの、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト縮減に努めるべきである。関係省庁への移し替えも含めて、これまでの事業の成果を適切に検証するとともに、関係省庁間のさらなる連携による効率化を図るべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	平成24年度不用額と、南極地域観測隊員派遣計画数及び実績数や、南極地域観測統合推進本部関係会議開催計画数及び実績数などの比較・検証により、隊員派遣に係る極地観測手当や本部事務局の運営経費を縮減するとともに、防衛省内における整備基盤の活用により、飛行士に係る訓練経費を縮減し、概算要求に▲2.7百万円反映した。					
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 南極地域観測への参加及び南極地域観測統合推進本部の設置について(昭和30年11月4日閣議決定) http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/nankyoku/06022402/001.htm 南極地域観測第Ⅶ期計画(H18~21) http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/nankyoku/06022402/002.htm 南極地域観測第Ⅷ期6か年計画(H22~27) http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/nankyoku/detail/1301920.htm 						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	319	平成23年	300	平成24年	315

※平成24年度実績を記入。

南極地域観測統合推進本部事務局
(各関係省庁等との連絡調整、各種会議の開催、予算要求等を実施し事業を推進)

文部科学省 6,865百万円

諸謝金 9百万円
職員旅費 1百万円
委員等旅費 1百万円
観測隊旅費 32百万円
庁費 12百万円
拠出金 2百万円

を含む(文部科学省執行分)

委託

移替

海洋物理・化学観測を実施

電離層観測を実施

地理・地形観測、地震・重力観測を実施

気象観測を実施

海底地形調査、潮汐観測を実施

南極観測船(砕氷艦)及び南極輸送支援ヘリコプターの運用による輸送支援

A 情報・システム研究機構
国立極地研究所
50百万円

B 総務省
45百万円

C 国土地理院
49百万円

D 気象庁
76百万円

E 海上保安庁
22百万円

F 防衛省
6,567百万円

再委託

委託

海洋調査船の運用による観測支援

電離層観測を実施

A-1 東京海洋大学
37百万円

B-1 情報通信研究機構(NICT)
45百万円

【随意契約・請負】 【随意契約・請負】 【随意契約・請負】 【一般競争入札・物品調達】 【一般競争入札・物品調達】 【一般競争入札・物品調達】 【一般競争入札・物品調達】 【随意契約・請負】 【一般競争入札・物品調達】 【一般競争入札・物品調達】

F-1 南極輸送支援ヘリコプター(3号機) ・川崎重工(株)岐阜工場 3,445百万円	F-2 「しらせ」年検・ユニバーサル造船(株)京浜事業所 348百万円	F-3 「しらせ」年検(変更) ・ユニバーサル造船(株)京浜事業所 337百万円	F-4 軽油2号(艦船用・免税) ・カメイ(株) 314百万円	F-5 CH-101航空機用部品(輸入) ・丸紅エアロスペース(株) 227百万円	F-6 軽油2号(艦船用・免税) ・カメイ(株) 193百万円	F-7 CH-101航空機用部品(輸入) ・丸紅エアロスペース(株) 158百万円	F-8 「しらせ」年検(専門業者工事) ・ユニバーサル造船(株)京浜事業所 115百万円	F-9 CH-101航空機用部品(輸入) ・丸紅エアロスペース(株) 110百万円	F-10 CH-101航空機用部品(輸入) ・丸紅エアロスペース(株) 108百万円
---	--	--	---------------------------------------	---	---------------------------------------	---	--	---	--

南極輸送支援ヘリコプター(3号機)の調達を実施

砕氷艦「しらせ」年次検査・修理を実施

砕氷艦「しらせ」年次検査・修理の変更を実施

砕氷艦「しらせ」の運航に必要な燃料の調達を実施

南極地域の観測に必要ヘリコプターの調達を実施

砕氷艦「しらせ」の運航に必要な燃料の調達を実施

南極地域の観測に必要ヘリコプターの調達を実施

砕氷艦「しらせ」年次検査・修理の専門業者による

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.情報・システム研究機構国立極地研究所			C.国土地理院		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員給与、社会保険料等	2	人件費	観測隊員派遣に係る諸手当	1
業務実施費	業務実施に係る消耗品費、旅費、雑役務費、保険料、光熱水料等	9	庁費	地理・地形観測、地震・重力観測に係る経費	49
再委託費	海洋調査船の運用による観測支援を委託	37			
一般管理費	上記直接経費に係る一般管理	1			
計		50	計		49
A-1.東京海洋大学			D.気象庁		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員給与、社会保険料等	4	人件費	観測隊員派遣に係る諸手当	6
業務実施費	業務実施に係る消耗品費、旅費、雑役務費、保険料、光熱水料等	30	庁費	気象観測に係る経費	70
一般管理費	上記直接経費に係る一般管理	3			
計		37	計		76
B.総務省			E.海上保安庁		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	電離層の観測に係る経費(情報通信研究機構)	45	人件費	観測隊員派遣に係る諸手当	1
			庁費	海底地形調査、潮汐観測に係る経費	22
計		45	計		22
B-1.情報通信研究機構(NICT)			F.防衛省		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
備品費	南極観測用デルタアンテナ、衛星測位電波観測システム等	24	職員諸手当	乗組員派遣に係る諸手当	93
消耗品費	観測・業務用消耗品	4	職員旅費	職員に係る旅費	3
雑役務費	修理・保守費、観測補助業務、データ整理作業、輸送等に係る費用	14	南極地域観測事業業務庁費	海上輸送に係る経費	15
一般管理費	上記直接経費に係る一般管理	4	糧食費	艦内食料に係る経費	83
			航空機及船舶運航費	航空機・船舶の運航に係る経費	2,928
			航空機購入費	南極輸送支援機(3号機)の購入に係る経費	3,445
計		45	計		6,567

※表示単位未満四捨五入の関係で、各費目の金額の合計と計が一致しない場合がある。

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

F-1.川崎重工(株)岐阜工場			F-6.カメイ(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
航空機購入費	南極輸送支援ヘリコプター(3号機)の調達	3,445	油購入費	軽油2号(艦船用・免税)の調達	193
計		3,445	計		193
F-2.ユニバーサル造船(株)京浜事業所			F-7.丸紅エアロスペース(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
艦船修理費	「しらせ」年次検査・修理	348	航空機修理費	CH-101航空機用部品(輸入)	158
計		348	計		158
F-3.ユニバーサル造船(株)京浜事業所			F-8.ユニバーサル造船(株)京浜事業所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
艦船修理費	「しらせ」年次検査・修理(変更)	337	艦船修理費	「しらせ」年検(変更)	115
計		337	計		115
F-4.カメイ(株)			F-9.丸紅エアロスペース(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
艦船用油購入費	軽油2号(艦船用・免税)の調達	314	航空機修理費	CH-101航空機用部品(輸入)	110
計		314	計		110
F-5.丸紅エアロスペース(株)			F-10.丸紅エアロスペース(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
航空機修理費	CH-101航空機用部品(輸入)	227	航空機修理費	CH-101航空機用部品(輸入)	108
計		227	計		108

※表示単位未満四捨五入の関係で、各費目の金額の合計と計が一致しない場合がある。

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	情報・システム研究機構国立極地研究所	海洋物理・化学観測の実施	50	企画競争	—

A-1.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京海洋大学	海洋調査船の運用による観測支援	37	随意契約	—

B

※予算の移替先

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	総務省	電離層観測の実施	45	—	—

B-1.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	情報通信研究機構(NICT)	電離層観測の実施	45	随意契約	—

C.

※予算の移替先

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土地理院	地理・地形観測、地震・重力観測の実施	49	—	—

D.

※予算の移替先

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	気象庁	気象観測の実施	76	—	—

E.

※予算の移替先

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	海上保安庁	海底地形調査、潮汐観測等の実施	22	—	—

F.

※予算の移替先

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	防衛省	南極観測船(砕氷艦)及び南極輸送支援ヘリコプターの運用による輸送支援	6,567	—	—

F-1.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	川崎重工(株)	南極輸送支援ヘリコプター(3号機)の調達	3,445	随意契約	—

F-2.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユニバーサル造船(株)	「しらせ」年検	348	随意契約	—

F-3.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユニバーサル造船(株)	「しらせ」年検(変更)	337	随意契約	—

F-4.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	カメイ(株)	軽油2号(艦船用・免税)の調達	314	3	93.9%

F-5.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	丸紅エアロスペース(株)	CH-101航空機用部品(輸入)	227	1	99.9%

F-6.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	カメイ(株)	軽油2号(艦船用・免税)の調達	193	3	98.1%

F-7.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	丸紅エアロスペース(株)	CH-101航空機用部品(輸入)	158	1	91.7%

F-8.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユニバーサル造船(株)	「しらせ」年検(専門業者工事)	115	随意契約	—

F-9.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	丸紅エアロスペース(株)	CH-101航空機用部品(輸入)	110	1	99.9%

F-10.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	丸紅エアロスペース(株)	CH-101航空機用部品(輸入)	108	1	95.5%